

爆音訴訟勝利を 勝ち取ろう!

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp

恐怖を感じた

米軍ヘリ不時着事故



海老名市の水田に不時着した米軍ヘリ 奥に社家小学校が見える

8月3日朝から、海老名市では戦没者慰霊祭が行われ、私は献花を終え、不戦の誓いを胸に、自宅へと戻りました。そこへ、社家4丁目米軍のヘリが不時着したらしいと一報が入り、私は現場に駆け付けました。現場では水田の稲の上に大きな軍用ヘリがプロペラを回しっぱなし。とても熱いのでしよう。陽炎のようなものが立ち上っていました。米軍のヘリはその後、不時着後1時間半ぐらいして、大谷の住宅街の方に黒っぽい煙を吐きながら、厚木基地へ向けて自力で飛び立っていきました。

内野優海海老名市長はその日のう

ちに「遺憾である。国や米軍に対し強く抗議するとともに、改めて確実な整備点検の実施など安全対策の徹底や、迅速かつ適切な情報提供を求めていきたい」とコメントを発売。7日には、神奈川県基地関係市連絡協議会が「予防着陸に至った原因究明と適切な安全対策、関係自治体への情報提供。同型機を含めた航空機の徹底した整備の実施と、安全が確認できるまでの飛行停止。予防着陸があった水田所有者等に対して適切な補償を実施」などの緊急要請を実施

しました。

一方、国からは5日、防衛省南関東防衛局長等が海老名市を訪れ「米側に対し、米海軍機の飛行に際しては安全管理と再発防止の徹底を要請し、着陸により与えた作物への被害の補償についても、しっかりと対応していく」と謝罪があり、6日には米軍厚木航空施設司令官も海老名市を訪れ「予防着陸は、乗組員や周辺住民の安全を最大限考慮して行ったことではあるが、安全な運航は最も重要なことであり、乗組員全員に徹底していく」としたが、海老名市の求めている情報提供については言及はなかったといえます。

今回の不時着は、一歩違えれば住宅街へとならかねなかったと思うと恐怖を感じます。また、今回不時着した米軍ヘリはMH-53Eという古い機体であったこと、韓国配備のヘリであったこともわ

コンタ見直しは中止を

国は、空母艦載機の岩国基地への移転により騒音状況が変化しているとして、騒音実態調査(2022年度・2024年度)後に、厚木基地周辺対策区域指定見直しを行なおうとしています。この7、8月にも調査を実施しました。

今年度の調査地点は全体で35箇所。その内大和市が20箇所、綾瀬市が4箇所です。厚木基地周辺対策区域指定とは

第一種区域(75w値以上・住宅防音工事の助成)、第二種区域(90w値以上・建物の移転補償)、第三種区域(95w値以上・緑地帯の整備)とあり、種類別区域ごとに補償内容を定めるものです。国はこれを縮小しようとしています。現在でも、年間1万3千回以上の騒音があります。

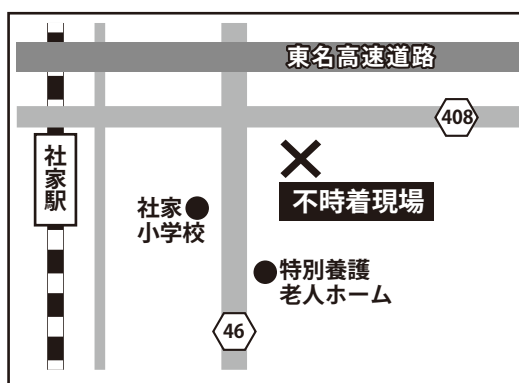
厚木爆同は、騒音が軽減されていないとして見直しに中止を求めています。

大和市・綾瀬市基地対策協議会 国へ要望書を提出

厚木爆同も委員として参加している大和市基地対策協議会では、8月5日に駐日米大使館、防衛省、外務省、総務省を訪問し「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

厚木基地に起因する市民負担の解消に努めることや基地周辺対策の拡充について、を二本柱に要請を行いました。

かつており、なぜ厚木基地に来ていたのか疑問も残ります。原因究明と安全対策の徹底、適切な情報公開、安全が確認されるまでは飛行させるべきではないことを強く求めます。



不時着地点は小学校のすぐ近く

2日、厚木基地に起因する諸問題の解決を求める要望書を防衛省、外務省等政府関係機関及び駐日米大使館に提出しました。要望としては、①基地を必要としない平和な世界の実現。②厚木基地の整理・縮小・返還の推進。特に使用頻度の少ない施設等の返還。③常に墜落事故や部品落下の不安解消のため、安全対策の徹底等を要請しました。

計報

大和北一支部所属で会計、会計監査として活躍されました飯森昭男さん(97歳)が4月27日、お亡くなりになりました。

この間の活動に敬意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

被爆79周年原水禁平和行進に参加

7月23日から7月26日まで、「核も戦争もない平和な21世紀に！子どもたちに核のない未来を！」をスローガンに原水禁福島大会、原水禁広島大会、原水禁長崎大会へ向けて被爆79周年原水禁神奈川県内平和行進が行われ、県内



大和市役所前で

各地をリレーしました。厚木爆同は県央地域の相模原コース、綾瀬・海老名・座間コース、藤沢コースに参加しました。7月24日、大和と相模原は朝9時半から、綾瀬・海老名・座間は17時から



相模原コース

日米地位協定の抜本改定を求めて

7月19日、在日米軍に占領的特権を与えている日米地位協定の抜本改定を求めて、全国渉外知事会の会長でもある黒岩祐治・神奈川県知事に要請に行きました。



知事要請を行う厚木爆同石郷岡委員長

厚木爆同をはじめとする4団体と国会議員や県議、市議を含む100人を超える賛同者の名簿を携えて、当日は23名が参加。三森基康基地対策局長が対応しました。米軍基地が沖繩に次いで多い神奈川県です。海老名市への米軍へ

リ不時着事故のように、米軍絡みの事件・事故が後を断ちません。住民の安全な暮らしを守るために米軍の航空機に日本の航空法を守らせると共に、米軍関係者の事件事故についてはどのようなものについても日本の法律が適用できるように、P F A S (有機フッ素化合物)等の汚染では日本の権限で米軍基地内に立ち入り、徹底調査して原因を究明して安全対策を立てさせ、汚染物質の使用停止を確認できるように日米地位協定を変えることが必要です。黒岩知事が全国渉外知事会の会長として、日米地位協定の抜本改定を国に求めて実現させるように、求めていきます。

スタートしました。

大和コースでは、大和市役所玄関前で出発式が行われました。行進団長の挨拶があり、その後大和市の国際男女参画課長に市に対する要望書を手渡した後、課長からは市長のメッセージをいただきました。ただ、この日は熱中症アラートが発出されており、残念ながら行進は断念しました。

相模原コースは、ウエルネス相模原広場から相模総合補給廠まで市長の激励を受け、スタートしました。

綾瀬・海老名・座間コースは、海老名市役所から座間市役所に向けて午後5時にスタート。昼間よりは暑さも我慢できました。座間市役所では、市長に迎えていただきました。

7月25日、藤沢コースも行進はできず、要望書を市に手渡しました。

軍用機騒音は他の騒音よりうるさい

航空機騒音環境基準改正後の評価方法を考えるシンポジウムが7月13日に、横浜情報文化センターホールで全国基地爆音訴訟弁護団連絡会の主催で行われ、軍用機の騒音評価方法は現行のやり方ではなく、最新の科学的知見から導かれた評価方法を取るべきだと講師が訴えました。

講演のテーマと講師は次のとおり。

- ①テーマ 日本での交通騒音の代表的な「曝露量と住民反応」の関係
講師 横島潤紀 神奈川県環境科学センター・神奈川大学工学研究所客員教授
 - ②テーマ 最新の科学的エビデンスに基づく軍用航空機騒音の公正な評価方法の関係
講師 田村明弘 横浜国立大学名誉教授
- 講演の中で、住民にとっては同じ音

オスプレイ事故 原因は公表されたが

昨年11月、屋久島沖で乗員8人全員が死亡したCV22オスプレイの墜落事故の調査報告書が、8月2日によくやく米空軍から公表されました。「変速機」の内蔵部で歯車が破損し、故障を知らせる警報が何度も鳴ったが、操縦士がセンサーの故障と誤って50分飛行を続けて墜落したのだと言います。原因は歯車破断としながら、その根本的な原因が特定できないにも関わらず、「操縦士のミス」で幕引きを図るのは許せません。

さらすのは、あまりにも理不尽です。厚木爆同では本年3月、事故原因の究明ぬきでの飛行再開に対して抗議申し入れを行いました。さらに全国の仲間と力を合わせて、危険極まりないオスプレイの飛行を止めましょう。欠陥機と言われているオスプレイは、点検のための飛行停止からわずか3ヶ月程で不具合の原因も公表しないで飛行の再開を実施しました。空母交代によりオスプレイが連絡機になりますと厚木基地への飛来も多くなり、機騒音と墜落の危険が高まる可能性があります。オスプレイの交代配備には反対の声を上げて行きます。



オスプレイは欠陥機騒音と墜落の危険が高まる可能性があります。オスプレイの交代配備には反対の声を上げて行きます。

厚木爆同議員団会議を開催

量でも軍用機の騒音は他の騒音より10デシベル以上うるさく聞こえることがわかりました。

7月6日に大和市生涯学習センターで、厚木爆同議員団会議を開催しました。議員7名と厚木爆同本部役員6人が参加。大波議員団長のもとに、各自自治体の有機フッ素化合物(P F A S)の実態と

取り組みについて大和市、綾瀬市、座間市、海老名市、藤沢市、神奈川県がどのような対策をしているかの意見交換をしました。

各議員さんからお話があり、有機フッ素化合物の問題について今後、議会の中で取り上げてもう方向で会議が終了しました。最後に、定期的に情報交換を行うことになりました。

勉強会厚木基地の現状と今後についてに参加

9月28日(土)午後2時から大和市生涯学習センターで、「厚木基地の現状と今後について」の勉強会を行います。講師はジャーナリストの布施祐仁さん。詳細は折り込みチラシをご覧ください。是非ご参加ください。

基地視察ツアーに参加を

10月9日(水)、恒例の基地めぐりのバスツアーを開催します。詳細は折り込みチラシをご覧ください。是非ご参加ください。

NHK受信料学習会に参加を

11月24日(日)午後2時から大和市生涯学習センターで、福田護弁護士を講師にNHK受信料学習会を開催します。詳細は、次号の会報でお知らせします。

